



2021年9月2日

各位

会社名 メディア総研株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田中 浩二
 (コード番号：9242 東証マザーズ・福証Q-Board)
 問合せ先 取締役管理部長 馬木 均
 (TEL. 092-736-5587)

**東京証券取引所マザーズ及び福岡証券取引所Q-Boardへの
 上場に伴う当社決算情報等のお知らせ**

当社は、本日、2021年9月2日に東京証券取引所マザーズ及び福岡証券取引所Q-Boardに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2021年7月期(2020年8月1日から2021年7月31日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2021年7月期 (予想)		2021年7月期 第3四半期累計期間 (実績)		2020年7月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率		
売上高	667	100.0	△5.0	611	100.0	702	100.0
営業利益	170	25.6	35.2	235	38.5	126	18.0
経常利益	178	26.8	40.0	243	39.8	127	18.2
当期(四半期) 純利益	127	19.1	28.4	163	26.7	99	14.1
1株当たり当期 (四半期)純利益	120円61銭		155円18銭		93円94銭		
1株当たり配当金	0円00銭		—		0円00銭		

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
 2. 当社は、2021年3月20日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。
 3. 2020年7月期(実績)、2021年7月期第3四半期累計期間(実績)及び2021年7月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。

【2021年7月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見通し

当社は、「不可能を可能に」という社是と「イノベーションとイノベーション人材で世界をフラットにする。」という経営理念を掲げ、未就業者(高等専門学校生(以下、高専生という。)、大学生)を中心とする求職者に対して、「就職活動が景気動向や企業の採用環境に依存しない社会を作る」という命題の実現のために、就職活動イベント開催や各種サービスの実施に取り組んでおります。

当社は、新卒採用領域のなかでも理工系の学生に焦点をあて、就職活動イベントの企画・運営を行ってまいりました。理工系の学生のなかでも、とりわけ高専生の就職活動は、大学生と比較して就職に関する情報量が少なく、また、高等専門学校の本科卒業は5年制となっていることから就職活動の時期が異なっ

ております。

このため高等専門学校教員の個別に学生と企業をつなぐケースが多いなか、2009年3月に「高専生のための合同会社説明会」を開催して以来、多くの学生と企業を一堂にマッチさせる就職活動イベントとして認識され、高等専門学校教員の協力のもと全国各地で、就職活動イベントの企画・実施を行っております。

当社の学生イベント事業は、就職活動イベントの開催が主なサービスであり、新型コロナウイルス感染症による感染拡大の影響を受け、大部分の就職活動イベントをイベント会場に企業ブースを設置して学生が会場に足を運んでもらう「対面形式」のイベント開催から、当社が開催する就職活動イベントをWEBで実現した「WEB合説サイト」で学生と企業がオンラインでコンタクトする「オンライン形式」のイベント開催へ変更することとなりました。また、それに伴い、一部イベントの開催中止や、出展企業数の減少等により売上高が減少した一方で、会場費、設営費、旅費交通費等の売上原価が大幅に削減されたため、各段階損益は前年同期に対して増益となりました。

この結果、2021年7月期第3四半期累計期間の業績は、売上高611百万円、営業利益235百万円、経常利益243百万円、四半期純利益163百万円となりました。

なお、当社が提供する高専生及び理工系の大学生向け就職活動イベントの開催時期の決定については、学生及び企業のニーズ、競合企業の状況等を勘案して決定しており、現在は、そのほとんどのイベントが12月から翌年3月にかけて実施していることから、当社の売上高もこの期間と重なる第2四半期から第3四半期に偏る傾向があります。

(2020年7月期の売上高並びに営業利益及び営業損失)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高(百万円)	63	409	187	43	702
営業利益又は営業損失(△)(百万円)	△51	201	40	△63	126

(注) 売上高には、消費税等は含まれておりません。

また、2021年7月期の通期業績見通しにつきましては、業績の推移や就職活動イベントの季節変動要因を考慮し、売上高667百万円(前期比5.0%減)、営業利益170百万円(前期比35.2%増)、経常利益178百万円(前期比40.0%増)、当期純利益127百万円(前期比28.4%増)を見込んでおります。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社は、「学生イベント事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、売上高については、就職活動イベントサービス、企画制作サービスに区分して予想値を算出しております。

サービス別売上高

(単位：百万円、%)

	2021年7月期 (予想)			2021年7月期 第3四半期累計期間 (実績)		2020年7月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率
就職活動イベントサービス	466	70.0	△8.4	448	73.2	509	72.5
企画制作サービス	200	30.0	3.7	163	26.8	193	27.5
合計	667	100.0	△5.0	611	100.0	702	100.0

① 就職活動イベントサービス

就職活動イベントの売上高は、対象の学生および主催の違いにより、高専生向け就職活動イベント<当社主催型>、高専生向け就職活動イベント<学校主催受託型>、大学生向け就職活動イベントの3つで構成されております。

いずれも期初計画において前期の実績、企業の採用選考動向等を踏まえ、イベント企画の内容及びスケジュールを策定しており、販売ブース数及び販売単価をイベントごとに積み上げることで算出しております。

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言の影響を受

け、大部分の対面形式のイベント開催をオンライン形式のイベント開催へ切り替え、また、一部イベントの中止や販売単価の減少などにより、売上高が減少いたしました。

以上により、第3四半期累計期間までの売上高は前年同期を下回る448百万円となり、2021年7月期通期の最終的な数値についても466百万円（前期比8.4%減）を見込んでおります。

②企画制作サービス

企画制作の売上高は、大学別就活手帳、WEB支援サービス、その他サービスの3つで構成されております。

期初計画において、大学別就活手帳は、前期の実績から受注見込みの学校数を割出し、学校ごとに発行部数及び販売単価を乗じることで算出しております。WEB制作サービスは、前期の実績から受注見込みの企業数を割出し、販売単価を乗じることで算出しております。その他サービスは、高専生向け就職活動イベント前に全国の高等専門学校に配布される「高専生のための合同会社説明会ガイドブック」に関しては、企業紹介の販売ページ数に販売単価を乗じることや、各イベント受託などは個別に見積もることによって算出しております。

当期においては、WEB制作サービスにおいて受注が好調であったことから売上高が増加いたしました。

以上により、当第3四半期累計期間における売上高は前年同期を上回る163百万円となり、2021年7月期通期の最終的な数値についても200百万円（前期比3.7%増）を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価については、主に会場費、設営費、旅費交通費、印刷費などです。

期初計画において、会場費、設営費は、各会場の見積書をベースに算出しており、旅費交通費は、参加学生数に応じた貸し切りバス台数やツアー料金をベースに算出しております。また、印刷費は過去の実績をベースに大学別就活手帳や「高専生のための合同会社説明会ガイドブック」などの企画制作の商品ごとに算出しております。

当期においては、新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言の影響を受け、大部分の対面形式のイベント開催をオンライン形式のイベント開催へ切り替え、会場費、設営費、旅費交通費が大幅に削減されました。

以上により、当第3四半期累計期間までにおける売上原価が前年同期を下回る112百万円となり、売上総利益が499百万円になりました。また、2021年7月期の売上原価が139百万円（前期比47.6%減）、売上総利益は、528百万円（前期比20.8%増）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費については、期初計画において前期実績をベースに、個別費用を勘定科目別に積み上げるとともに、事業拡大に伴う人員計画、人件費の増加等を考慮し算出しております。主な費用項目は、役員報酬・給料及び手当・法定福利費等の人件費であります。

当期においては、人員増加による人件費の増加や地代家賃等の増加により販売費及び一般管理費が増加しております。

以上により、当第3四半期累計期間までにおける販売費及び一般管理費が前年同期を上回る263百万円となり、営業利益が235百万円になりました。また、2021年7月期の販売費及び一般管理費が357百万円（前期比15.0%増）、営業利益は、170百万円（前期比35.2%増）を見込んでおります。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益・費用については、期初計画において実額で見込める項目についてのみ計上しております。

当第3四半期累計期間においては、営業外収益として新型コロナウイルス関連の各種助成金収入等が発生しております。

以上により、2021年7月期の経常利益は、178百万円（前期比40.0%増）を見込んでおります。

(5) 特別利益・損失、当期純利益

特別利益・損失については、期初計画において実額で見込める項目についてのみ計上しております。

当第3四半期累計期間においては、特別損失として新型コロナウイルス感染者の発生に伴う対応費用0百万円を計上しております。

なお、第4四半期においては、保険の解約による収入15百万円を特別利益として見込んでおります。

以上により、2021年7月期の当期純利益は、127百万円（前期比28.4%増）を見込んでおります。

(6) 経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当社は、理工系学生の新卒採用、とりわけ高専生の就職活動イベントに関するリーディングカンパニーとして、当該市場のみならず、大学生を含めた理工系学生及びその付随する市場に注力することにより、高い成長性を継続することを目指します。

主力イベントである「高専生のための合同会社説明会」や「理工系業界研究セミナー」等は、学生の集客及び出展企業数が事業収益に直結することから、魅力的な高収益のイベント企画を実現し、高い成長性を維持するためにも、積極的な投資を行い、新たな企画やサービスの提供を継続することを考えております。

なお、主力イベントである「高専生のための合同会社説明会」や「理工系業界研究セミナー」については、企業から対面形式での開催の要望が強く、環境・状況が許せば対面形式での開催を基本と考えております。

学生イベント事業は、大別して就職活動イベントサービス及び企画制作サービスに区分しておりますが、就職活動イベントサービスの種類や企画制作サービスの種類により、販売単価やサービスごとの売上総利益率が異なり、また、新型コロナウイルス感染症拡大による就職活動イベントの開催形式の変更が売上原価及び売上総利益に影響を与えることから、当社は、売上高及び売上高営業利益率を重要な指標とし、売上高成長率10%以上、売上高営業利益率20%以上を目標としております。

参考数値（過去2期間及び当期予想並びにその平均）

（単位：％）

	2019年7月期	2020年7月期	2021年7月期 （予想）	3か年平均
売上高成長率	27.8	9.8	△5.0	10.9%
売上高営業利益率	22.0	18.0	25.6	21.9%

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年7月期3Q	1,054,000株	2020年7月期	527,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期3Q	一株	2020年7月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年7月期3Q	1,054,000株	2020年7月期3Q	527,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、2020年1月より世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として世界経済の先行きに関して不透明な状況が続いております。

当社の事業領域である人材・就職支援業界においては、新型コロナウイルス感染症の拡大以前は、求人企業の採用意欲は旺盛であり、就活イベント等が各地で開催されておりましたが、2020年2月の後半からイベント等の自粛に伴う中止・延期等が頻発いたしました。また、2021年2月の有効求人倍率が1.04倍（前年同月は1.38倍。厚生労働省調査）、完全失業率が2.9%（前年同月は2.4%。総務省統計局調査）を記録するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化しております。

このような環境のなか、当社は、事業の柱である「高専生のための合同会社説明会」、「理工系業界研究セミナー」等の就職活動イベントの企画・運営・実施に取り組みました。また、新たな取組みとして、本格的な就職活動が始まる前に業界研究・企業理解を行う場としてオンライン形式で「KOSEN meetup company」をスタートし、また、高等専門学校の特徴、教職員の専門教科、高専生の研究結果の発表、高専生の就職先企業での活躍などの情報発信を目的としたWEBマガジン「月刊高専」の充実を図りました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は611,944千円、営業利益は235,739千円、経常利益は243,376千円、四半期純利益は163,563千円となっております。

なお、当社は、主たる事業である学生イベントの開催日が第2、第3四半期会計期間に集中する傾向があり、通常、第2、第3四半期会計期間の売上高は第1、第4四半期会計期間の売上高と比べて著しく増加する傾向にあります。

また、当社は学生イベント事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より247,962千円増加し、658,627千円となりました。主な増加要因は、学生イベントが順調に開催できたことから現金及び預金が217,110千円増加したほか売掛金も40,710千円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より1,730千円増加し、106,786千円となりました。主な増加要因は、「理工系学生合説システム」を改修したため無形固定資産の「その他」が8,037千円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より86,549千円増加し、161,092千円となりました。主な増加要因は、利益計上のため未払法人税等が43,011千円増加したほか買掛金が25,451千円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より420千円減少し、504千円となりました。これは、固定負債の「その他」の減少420千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より163,563千円増加し、603,816千円となりました。これは、四半期純利益の計上により、利益剰余金が163,563千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期の業績予想については、本日公表いたしました「東京証券取引所マザーズ及び福岡証券取引所Q-Boardへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	371,627	588,738
売掛金	17,805	58,516
商品	1,016	—
仕掛品	4,070	3,743
貯蔵品	741	329
その他	15,840	9,212
貸倒引当金	△438	△1,913
流動資産合計	410,664	658,627
固定資産		
有形固定資産	34,466	31,058
無形固定資産		
のれん	5,801	4,666
その他	8,794	16,832
無形固定資産合計	14,595	21,498
投資その他の資産	55,993	54,229
固定資産合計	105,056	106,786
資産合計	515,720	765,413
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,154	28,606
未払法人税等	13,598	56,609
賞与引当金	4,154	10,422
その他	53,635	65,453
流動負債合計	74,543	161,092
固定負債	924	504
負債合計	75,468	161,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,850	64,850
資本剰余金	14,850	14,850
利益剰余金	360,552	524,116
株主資本合計	440,252	603,816
純資産合計	440,252	603,816
負債純資産合計	515,720	765,413

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年4月30日)
売上高	611,944
売上原価	112,396
売上総利益	499,547
販売費及び一般管理費	
役員報酬	65,234
給料及び手当	61,716
賞与引当金繰入額	8,226
貸倒引当金繰入額	1,475
その他	127,154
販売費及び一般管理費合計	263,807
営業利益	235,739
営業外収益	
受取給付金	6,537
その他	1,098
営業外収益合計	7,636
経常利益	243,376
特別損失	
新型コロナウイルス感染症による損失	483
特別損失合計	483
税引前四半期純利益	242,893
法人税等	79,329
四半期純利益	163,563

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)

当社は、学生イベント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。